

第4学年 学級活動指導案

平成28年10月20日（木）第5校時

1 議題「〇〇さんとのふれあい集会の計画を立てよう」

（第4学年 ア 学級や学校における諸問題の解決）

2 児童の実態と議題選定の理由

本学級の児童は、係活動や班活動などを通して男女仲良く学校生活を送っている。レク係が主催するハンカチ落としやじゃんけん大会などのイベントにもクラス全員で参加し、その準備の段階でも協力して取り組む姿が見られる。係活動では、各係が創意工夫して意欲的に活動を進める反面、活動が長続きしなかったり、メンバー同士でトラブルになったりして計画的に進められないこともあった。

学級活動については、年度当初にオリエンテーションを行い、話合いの進め方や意見の出し方等の共通理解を図った。その後、「クラスのキャラクターを考えよう」、「室内オリンピックをしよう」などの議題で学級会を行い、計画委員の司会進行や学級会の意見の出し方や話の聞き方等、望ましい行動を称賛し学級会への意欲化を図った。1学期と比べ、少しずつであるが、建設的な意見や折衷案が出るようになってきた。だが、発言する児童が偏ったり、自分の意見を曲げずに意固地になったりしている児童も見られる。2学期最初の「室内オリンピックをしよう」では、どの児童も自分の役割に責任をもって取り組み、笑顔があふれる楽しい思い出をつくることができた。

本議題は、10月4日に実施した特別支援学校の児童との交流について、さらに親睦を深めたいという思いから提案されたものである。児童はこれまでも毎年、特別支援学校の児童との交流に取り組んできたが自分たちだけの活動になってしまったり積極的に関われなかったりしていた。今年度1回目の交流では、これまでの反省を踏まえ一緒に楽しもうと、積極的に関わろうとする児童が増えた。しかし、相手のことを考えた行動ができず、自分勝手な行動をする児童も見られた。これまでの経験を通して「交流をもっと深めていきたい。」という思いが高まり議題として選定され、学級全員で決定された。交流をする相手のことを考え、話し合うことで思いやりの心を育てていきたい。

3 研究主題との関わり

互いのよさを認め、よりよい人間関係を築き、学級・学校生活を創造する児童の育成 ～学級活動（1）の充実を通して～
--

学校教育の意義は、「生きる力」の育成と確かな学力の定着、望ましい学級集団を通じた個の育成にあると考える。それを達成するためには、よりよい人間関係を築く力や自らよりよい生活を創造する力が必要であると考え。児童は、学級集団において、自分の居場所を学級の中で実感し、友達と共に学級の問題を乗り越えたり、学校行事等の体験活動をしたりすることで成長していく。また、自分と友達のそれぞれのよさを認め、互いに成長することで学級生活を創造する児童が育成されるであろうと考える。そして、そうした望ましい学級集団であれば、自分の気持ちや思いを堂々と表現でき、主体的に学ぶ児童になると考える。

学級会においては、学級での問題点や課題に一人一人が気付き、話し合いながらよりよい学級生活を目指していく。本議題において、相手の障害のことも配慮し、どの児童にとっても満足いく集会にするために話し合いや実践を通して研究主題の児童の育成をはかっていきたい。

4 評価の観点と評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級の生活上の問題に関心をもち、他の児童と協力して意欲的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しい学級生活をつくるために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、協力し合って実践している。	みんなで楽しい学級生活をつくることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の計画的な進め方などについて理解している。

5 事前の活動

月日(曜日)	活 動 の 場	活動の 主体	活動の内容	・指導上の留意点 ◎目指す児童の姿(評価の観点) [評価方法]
10月14日 (金)	昼休み	計画委員 提案者	<ul style="list-style-type: none"> ・提案ポストの提案をもとに議題案を確認し選定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> (議題ポストに提案されていた議題) ①「ハロウィンパーティーがしたい」 ②「4-1スポーツ大会がしたい」 ③「〇〇さんとのふれあい集会を開きたい」 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・議題選定の視点、提案理由の意義を理解して選定できるように助言する。
10月17日 (月)	朝の会	全員	<ul style="list-style-type: none"> ・議題の決定 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画委員の提案のもと全員で議題を決定する。 ・提案された議題のよさと必要性を称賛する。
10月18日 (火)	昼休み	計画委員 提案者	<ul style="list-style-type: none"> ・活動計画の作成をする。 ・学級会の進行の仕方を確認する。 ・提案理由の練り上げをする。 ・話し合いの柱を決定する。 ・決まっていることを確認する。 ・話し合いの柱・提案理由などを背面黒板に記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提案理由の練り上げのポイントを示し、提案者の思いを深められるようにする。 ・提案者には、みんなが理解できる提案理由になるように助言する。 ◎計画委員会の役割、会の進行の仕方を理解している。 (知識・理解) [観察]
10月18日 (火)	帰りの会	全員	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの柱等を伝える。 ・学級会ノートの記入をする。 	◎提案理由に沿った意見の出し方を理解している。 (知識・理解) [ノート]

10月19日 (水)	昼休み	計画委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学級会ノートに書かれた意見を整理し短冊に記入する。 ・話合いの進め方を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出された意見から話合いの見通しがもてるよう助言する。
---------------	-----	------	--	---

6 本時のねらい

○相手に喜んでもらえるような内容について思いやりをもって考えることができる。

7 展開

第9回 学級会計画ノート 10月20日(木) 5時間目

議 題	〇〇さんとのふれあい集会を開こう		
提案理由	10月4日に〇〇さんとの交流学习がありました。私たちは、体育で一緒に体を動かして楽しみました。でも、クラスの少しの友達しかふれあうことができませんでした。そこで、もっとふれあえる集会を開けば〇〇さんに喜んでもらえると思い提案しました。思いやりの心をもって、集会ができれば、4-1はもっと仲のよいクラスになると思います。		
提案者 ()			
話合いのめあて	〇〇さんともっとふれあえる集会を考えよう。		
計画委員	司会	黒板記録	黒板記録
	司会	ノート記録	
決まってい ること	<ul style="list-style-type: none"> ・11月15日(火) 4時間目 ・内容を1つ決める。(プログラムの空いているところ) ・〇〇さんにメッセージカードをプレゼントする。 		
話合いの進行	気をつけること		
1 始めの言葉	大きな声ではっきりと言う。(司会)		
2 計画委員の紹介	一人ずつ、自分の役割を発表する。 今日の目標も合わせて発表する。		
3 クラスの歌	今月の歌を大きな声で歌う。※1番だけにする。		
4 議題のかくにん	大きな声ではっきりとみんなに聞こえるように言う。(司会)		
5 提案理由の発表	提案理由をみんなに理解してもらえるようにゆっくりと説明する。 (提案者) みんなに提案者の方を向くようにする。(司会)		
6 決まっている ことの確認	決まっていることが書いてあるボードを指しながら、はっきりと言う。(黒板)		
7 めあての確認	大きな声ではっきり言う。(司会)		
7 先生の話	先生にお願いする。		
8 話合い 話し合うこと ①「どんなゲーム をするか」 (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ・出された意見を事前に短ざくに書いておき、黒板にはっておく。 ・出された意見を整理しておく。 ・意見を「比べ合う」段階から話し合うようにする。 ・出された意見にしつ間がある場合は答えてもらう。「〇〇という意見のしつ間に答えられる人はいますか。」 ・提案理由をもとによりよい考えにしばっていく。 ・〇〇さんのことを思いやりながら内容を考える。 ・話合いがそれたら提案理由を振り返るようにする。 ・決定するときは、反対している人がいるか確かめるようにする。「反対の人はいませんか。」 		準備するもの <ul style="list-style-type: none"> ・学級会ボード ・マーカー ・短ざく ・司会などの札 ・時計 ・決定マーク ・ありがとうマーク ・賛成マーク

②「会を盛り上げる工夫はどうするか」 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・反対している人がいたら、説得する意見や不安を解消できる意見を出してもらうようにする。 ・柱②も「比べ合う」段階から話し合うようにする。 ・実際に準備できるかどうかにも考えてもらう。 ・みんなができるだけ発表できるようにする。 「〇〇さんは柱②のことについてどう思いますか。」 ・はじめにどんな役割が必要か出してもらう。 ・全員が何かしらの役割ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・反対マーク ・プログラム
③「役割分たん」	<ul style="list-style-type: none"> ・時間があったら決めるようにする。 	
9 決まったことの確認	分かりやすくまとめて発表する。(ノート記録)	
10 振り返り	時間があったら、2人ほど発表してもらう。	
11 先生の話	先生にお願いする。	
12 終わりの言葉	司会が言う。	

8 指導上の留意点

話合いの順序	指導上の留意点 ◎目指す児童の姿(評価の観点) [評価方法]
1 始めの言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・明るい雰囲気で行えるように、笑顔で見守る。
2 計画委員の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に、司会・黒板記録・ノート記録それぞれにめあてを言えるように指示しておく。
3 今月の歌	<ul style="list-style-type: none"> ・学級会への意欲を高めるために明るく歌えるようにする。
4 議題の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・提案者の思いや願いが伝わるよう、事前に学級会ノートに記入し、配付したり、背面黒板に記入したりして学級全体に周知しておく。
5 提案理由の発表	<ul style="list-style-type: none"> ・全員が共通理解できるように、司会が大きな声ではっきりと発表できるよう助言しておく。
6 決まっていることの確認	
7 めあての確認	
8 先生の話	<ul style="list-style-type: none"> ・提案者の思いの補足を行い、本時の目的を明確にする。
9 話合い	<ul style="list-style-type: none"> ・「比べ合う」段階から進められるように準備するよう伝えておく。
①どんなゲームをするか。	<ul style="list-style-type: none"> ・出しておいた意見に、追加や質問があるか確認するよう助言しておく。 ・出しておいた意見を短冊に要約してまとめておき、黒板に貼っておくことを確認しておく。 ・質問されてもわかりやすく答えられるように助言しておく。(事前に用意できるものは計画委員に準備するよう助言しておく。)
②会を盛り上げる工夫はどうするか。	<ul style="list-style-type: none"> ・司会が困っている時や話の方向がそれた場合は、積極的に助言し、話合いの進め方や司会の進め方を共通理解できるようにする。 ・提案理由を意識した発言や建設的な意見、進行を助ける意見を称賛する。
③役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ・発表者が偏らず、より多くの児童が発表して話合いに参加できるように、司会に助言する。 ・時間が残り少なくなった場合、「まとめる」段階に入り、意見を収束するよう助言する。 ・決定に際しては、安易に多数決にならないように気をつけるとともに採用されなかった意見を出した児童にも確認するよう助言する。

	(反対意見がないか、忘れずに確認するように事前に伝えておく。) ◎工夫や内容について、自分の考えを進んで発表しようとしている。 (関心・意欲・態度) [観察]
10 決まったこと の確認	◎友達の見解を参考にして新たな意見や折衷案などを提案していたり、相手を説得する意見を出したりしている。 (思考・判断・実践) [観察]
11 振り返り	・ノート記録に大きな声で発表できるように指導しておく。
12 先生の話	・自分自身の学級会への取り組み方、話し合いでの友達の建設的な意見等を振りかえらせる。
13 終わりの言葉	・計画委員へのねぎらい、前回からの成長した点、次回への課題を伝えるとともに、実践への期待が高まるような声かけをする。 ・今後の活動に向けての見通しを確認するよう事前に助言しておく。

9 事後の活動

日 時	児童の活動	◎指導上の留意点 ◎目指す児童の姿(評価の観点) [評価方法]
10月21日(金) ～ 11月8日(火) 11月9日(水) 帰りの会	役割ごとの準備 役割ごとの内容 の確認	◎協力して準備ができるように助言する。 ◎帰りの会で役割ごとの活動の内容を確認し、意欲の継続化を図る。工夫していたり、協力している班を取り上げたりして称賛する。 ◎楽しい会ができるように最後まで準備できているか確認をする。
11月10日(木) 昼休み 11月14日(火)	役割ごとの準備 活動の振り返り	◎準備が不十分なグループは、助言を行う。 ◎提案理由にもとづいた活動の振り返りを行い、お互いのよさや頑張りに気づくことができるようにする。 ◎集会のめあてを意識し、友達と協力して実践しようとしている。 (関心・意欲・態度) [観察・振り返りカード]